

慶應義塾大学大学院  
システムデザイン・  
マネジメント研究科

**SDM**  
System Design and Management



港北区



## 連携協定を締結

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科と港北区は、このたび、「システム思考やデザイン思考、マネジメントに関する教育研究成果を活用した地域の課題についての調査・事業の実施、スポーツに関する取組やデータの活用検討等を通じて、相互のさらなる発展に寄与すること」を目的として、連携協定を締結します。

今後、港北区内の小学校で、スポーツデータを取得・分析・考察する授業の実施や、港北区において、スポーツデータの活用などを通じて、スポーツを楽しみかつコミュニティを創出する取組などを連携して実施していきます（別紙参照）。

### ◆連携協定 締結式

1 日時

平成 29 年 6 月 1 日（木）12：15 から（30 分程度）※開場 12：00

2 場所

慶應義塾大学日吉キャンパス協生館 3 階 C3S10 教室  
（横浜市港北区日吉 四丁目 1 番 1 号）

3 協定締結者

慶應義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科委員長 前野 隆司

港北区長

横山 日出夫

4 当日、取材にお越しいただける場合は、事前に御連絡をお願いいたします。

【連絡先】港北区区政推進課 大屋、亀田 Tel 045-540-2230



#### 【参考】慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科の概要

<所在地> 横浜市港北区日吉 四丁目 1 番 1 号

<研究科・専攻> システムデザイン・マネジメント研究科

システムデザイン・マネジメント専攻（修士課程/後期博士課程）

<学生数> 修士 152 人、博士 63 人（平成 29 年 5 月現在）

#### お問合せ先

港北区 区政推進課長 山本 憲司 Tel 045- 540-2220

慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科 准教授 神武 直彦 Tel 045- 564-2580

## 連携協定のもとで実施予定の取組みの例

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科  
准教授 神武 直彦

### 1. スポーツを通じたデータ活用推進教育研究

ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 大会を念頭に、港北区民が、自分が行ったスポーツに関するデータ（スポーツデータ）を収集・分析・考察する力を養う取組みを行うと共に、スポーツデータに関するオープンデータ推進のための研究を行う。なお、本教育研究は、慶應義塾体育会蹴球部（ラグビー部）との連携によって実施する。

#### （1）スポーツデータサイエンス授業（6月下旬より開始予定）

横浜市立日吉台小学校を始めとした小学生を対象に GPS 受信機やカメラ、ドローンなどを用いてスポーツデータを収集・分析し、そのデータを活用したスポーツパフォーマンス向上のためのワークショップを実施する。



小学生を対象にしたセンサによるスポーツデータ取得と GPS 受信機を利用した小学生の移動軌跡の可視化（イメージ）

#### （2）スポーツデータサイエンス公開セミナー（秋頃に実施予定）

主に港北区内在住の親子や家族を対象に、港北区内のスポーツ施設においてスポーツデータ収集・分析に関するスポーツデータサイエンス公開セミナーを実施する。

#### （3）オープンデータワークショップ（秋頃に実施予定）

主に港北区内在住の高校生以上を対象にスポーツデータを含むデータに関するオープンデータの生成・活用方法を学び、それらを対象にしたアイデア創出ワークショップを実施する。

## 2. 港北区の課題解決のための「システムデザイン・マネジメント実習」講義

SDM 研究科でのシステムデザイン・マネジメントの基礎的な考え方を実習形式で学ぶ講義である「システムデザイン・マネジメント実習」において、受講生が、港北区の課題を解決するための新しいシステムのアイデアを創出し、その設計と検証までを行う。具体的には、課題の調査・分析や利害関係者の分析、システムの要求分析から設計、プロトタイプによる検証までを4-5名で構成されるチームで行い、その過程において、港北区役所職員とのフィールドワークや関係する利害関係者へのインタビューなどを行い、講義最終回では、そのシステムデザイン・マネジメントのプロセスと提案システムについての報告を行う（4月より実施中）。



港北区役所職員による港北区の概要紹介



学生による全体議論